# 立ち上がった際に自覚した胸痛　 79歳女性　書籍878頁参照

|  |
| --- |
| 現病歴：2 日前，夜間に台所に立ち上がった際に胸痛を自覚した．それ以降，動くたびに胸痛を感じていたため，座ってゆっくり過ごしていた．本日，病院受診しようと歩いたときに呼吸困難が出現し，タクシーで救急外来を受診した．  身体所見：身長163 cm，体重69.5 kg，体温35.7℃，脈拍67回/分（整），血圧96/61 mmHg，呼吸数16回/分，*S*pO2 85%（室内気）．眼瞼結膜に貧血所見は認めない．肺野では呼吸音清明，II音分裂，III音を聴取する．下腿浮腫は軽度．  既往歴：十数年前から高血圧症．十数年前から脂質異常症．脳梗塞を3年前に発症したが，後遺症はなし．  内服薬：ニフェジピン，アスピリン，バルサルタン，フェノフィブラート，ビソプロロール，ゾルピデム． |

## ■診断の進め方

### 特に見逃してはいけない疾患（考えられる疾患をできるだけ挙げる）

ここに記入

### 頻度の高い疾患（考えられる疾患をできるだけ挙げる）

ここに記入

## ■この時点で何を考えるか？医療面接と身体診察を総合して考える点 （可能性の高い疾患とその理由、除外診断とその理由などを挙げる）

ここに記入

### 診断仮説（仮の診断）（可能性が高いと考えられる疾患を挙げる）

ここに記入

## ■必要なスクリーニング検査（診断を絞り込むために必要な検査を挙げる）

ここに記入

## ■検査結果

|  |
| --- |
| 心電図：図1  血液生化学検査：D-ダイマー  5.6μg/mL，CK 85 U/L，CK-MB 12 U/L，Cr 1.05 mg/dL．  心臓超音波検査：図2 |

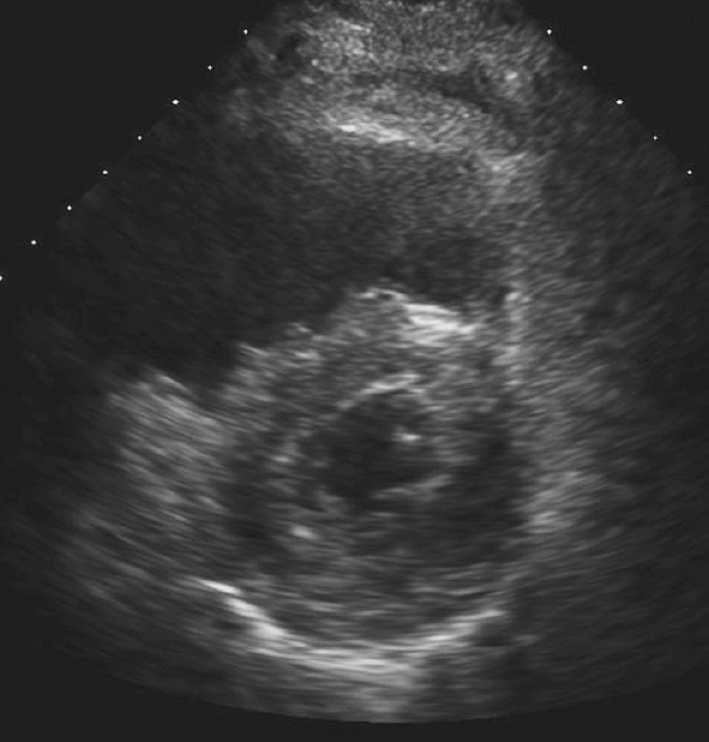


図2 心臓超音波検査

右室の拡大と左室の圧排像を認めた．

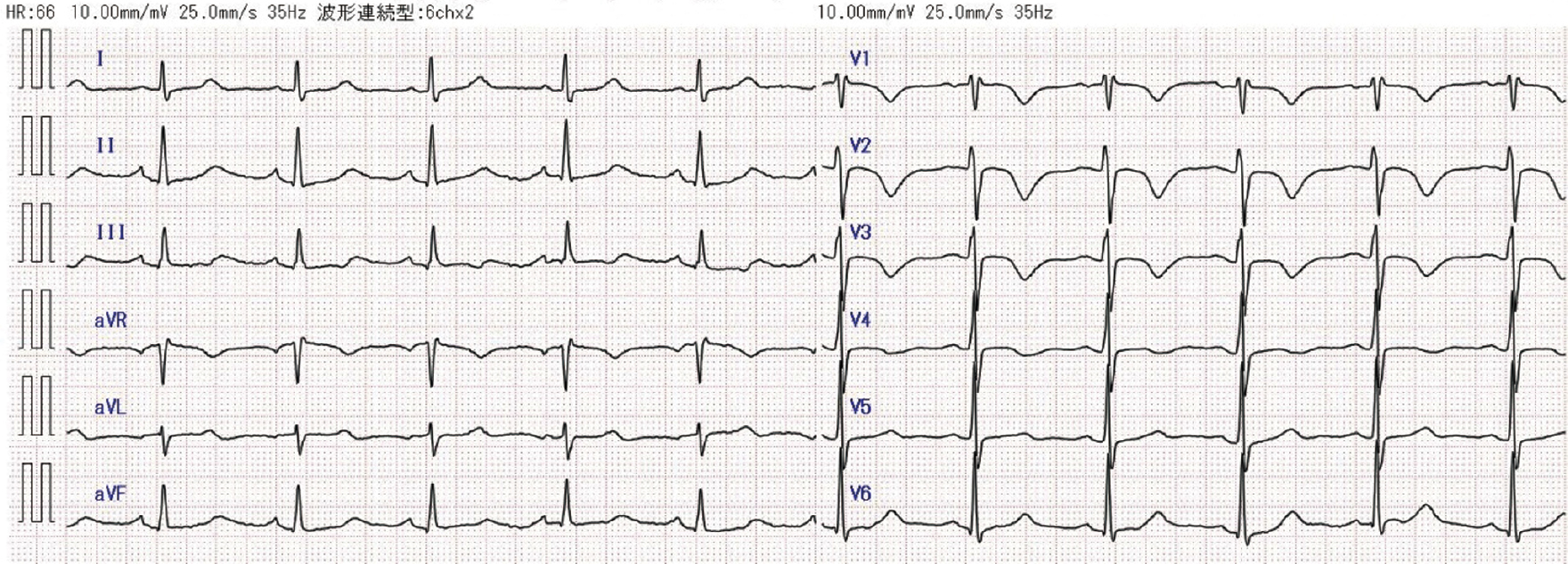


図1 来院時 12 誘導心電図

65回/分の洞調律で，前胸部誘導 V1～V3で陰性T波形とQT延長を認めた．

### 診断仮説（仮の診断）（可能性が高いと考えられる疾患を挙げる）

ここに記入

## ■診断確定のために（必要な追加検査などを挙げる）

ここに記入

### 診断（診断結果を記入）

ここに記入

## ■治療の基本方針（診断を受けて必要な治療を挙げる）

ここに記入